

令和3年度 すくすくウォッチの結果について

令和3年(2021年)11月1日
枚方市立津田南小学校

調査の目的等

1. 調査目的

○子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につける。

2. 調査実施期間及び調査の対象

令和3年(2021年)5月26日(水)～6月2日(水) 小学校第5・6学年の児童

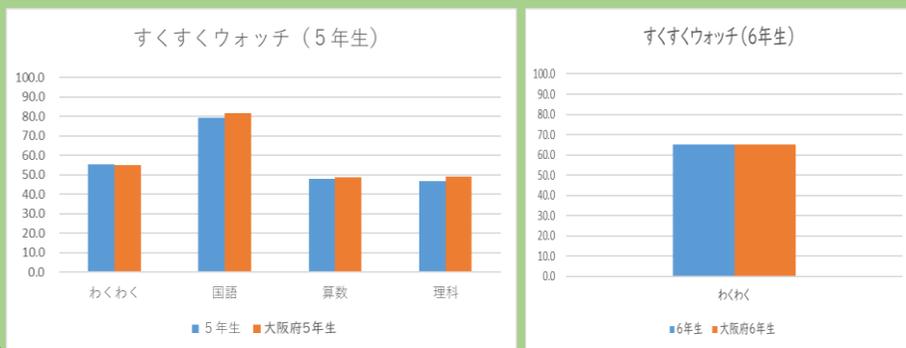
3. 調査内容

(1) 教科に関する調査

5年生・・・国語・算数・理科・わくわく問題(教科横断型)・アンケート

6年生・・・わくわく問題(教科横断型)・アンケート

令和3年度すくすくウォッチの結果



全体的な傾向について

わくわく問題:5年生・6年生ともに大阪府の平均正答率よりわずかに上回っている。

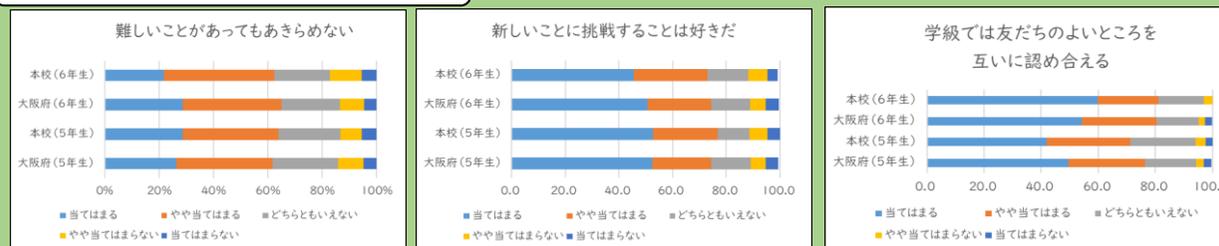
国語:大阪府の平均正答率より、わずかに下回っている。

算数:大阪府の平均正答率より、わずかに下回っている。

理科:大阪府の平均正答率より、下回っており、他教科に比べて、大阪府とのひらきが一番大きい。

児童アンケートの結果

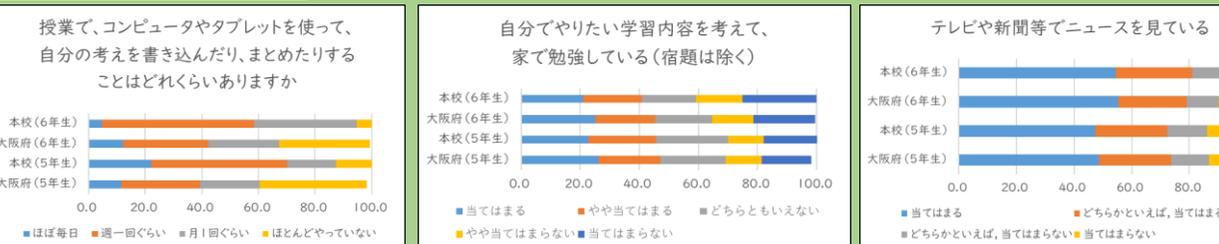
目標に向かって頑張る力・好奇心



学校・授業での様子



授業・家庭での様子



今年度の結果及び今後の取り組みについて

「わくわく問題」に関しては、グラフを読み取りながら必要な情報を探出す問題が特に正答率が低い。「国語」では、主語・述語に関する問題が課題となる児童が多い。「算数」では、「わくわく問題」と同じ、グラフの読み取り問題の正答率が、「理科」では、電池の回路についての問題の正答率が低い結果となった。

今後の取り組みについては、「国語」では文法問題を中心に練習問題を、「算数」では「わくわく問題」と共通していたグラフの読み取り問題を中心に、「理科」では電池の回路についての練習問題に取り組む。更に全教科に通じるグラフの読み取りと、問題文の中から必要な情報を取り出し、正解を導くための授業改善をめざす。